

急性リンパ性白血病に対する Fludarabine/Busulfan と Fludarabine/Melphalan を用いた強度減弱前処置の比較

1. 研究の対象

2008 年 1 月から 2022 年 12 月まで急性リンパ性白血病に対し初回造血幹細胞移植を受けた方

2. 研究目的・方法

同種造血幹細胞移植は、急性リンパ性白血病患者に対する確立された治療選択肢である。強度減弱前処置の登場により、骨髄破壊的処置が適応とならない高齢患者や合併症を有する患者にもその適応が拡大したが、至適前処置レジメンは明らかになっていない。日本造血細胞移植データセンターが提供する移植登録一元管理プログラムを用いて急性リンパ性白血病患者を対象に、Fludarabine/Busulfan と Fludarabine/Melphalan を用いた強度減弱前処置を比較検討する研究を行う。

研究期間：2026 年 6 月から 2029 年 3 月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療歴，診療記録，臨床検査データ

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータ提供は行わない。

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 血液内科
上條公守

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

りんくう総合医療センター 血液内科

氏名：上條公守（研究責任者）

住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

電話番号：072-469-3111（代表）

研究代表者：

同上

(2023 年 7 月 4 日)